



タイの出入国カードのデジタル化

北陸銀行 国際部
バンコク駐在員事務所
所長 湧川 裕明

1. はじめに

タイ政府は2025年5月1日から入国カードを完全デジタル化し、タイへの全外国人入国者に対し、オンラインでの提出を義務付けると発表しました。これまでは紙の入国カード(TM6)に記入し提出していました(2022年7月以降、空路での入国の場合は無期限で免除、陸路/海路での入国の場合は期限を定めて免除)が、事前登録によって手続きの効率化を図るねらいがあります。

今回は、この手続きに関連する動きについて、紹介していきたいと思います。

2. TDAC(Thailand Digital Arrival Card)と電子渡航認証システム

紙ベースのTM6は、氏名やパスポート番号、滞在先住所などを記入するフォームで、出国カードと入国カードが一体になっていました。デジタル版となる「TDAC(Thailand Digital Arrival Card)」は、事前にオンライン登録を行うことで入国審査手続きがスムーズに進みます。ちなみに現在、空の玄関口であるスワンナプーム国際空港では、出国の際のパスポート審査では外国人の列にも自動化ゲートが設置されており、待ち時間の短縮化につながっています。TDACの運用が安定した後は、アメリカで運用されているような電子渡航認証システムの導入に向けて動き出すことが予想され、入国時の自動化ゲート利用も可能になると考えられます。

電子渡航認証システム導入のメリットとしては、入国時の混雑解消が見込めると同時に、セキュリティの強化にもつながると言えます。TDACの導入発表は2025年1月でしたが、中国人俳優がタイに入国後拉致されミャンマーの詐欺拠点に一時監禁された事件の報道後のタイミングでもあり、この事件がTDACの導入を後押しすることとなったとも言われています。

3. 観光税の徴収

タイでは以前から「観光税(入国税)」の導入が検討されてきています。タイ政府は、空路での入国は「300バーツ(約1,350円)」、陸路/海路での入国は「150バーツ(約675円)」の観光税徴収を考えています。2023年に閣議決定されたものの、実際の徴収は延期されています。2025年5月1日からのTDAC開始のタイミングでは、まだ観光税は導入されない見通しですが、デジタル化が問題なく進んだ後は、TDAC登録時のクレジットカード決済などで観光税の徴収が現実となるかもしれません。

4. おわりに

2024年にタイを訪れた日本人は105万人で、5年ぶりに100万人を突破しました。TDACの事前周知のため、日本語を含む複数の外国語での案内動画も準備される予定です。実際に2025年5月1日に実施するとすれば準備期間も残りわずかであり、個人的には後ずれしても不思議ではないと思っていますが、マレーシア、カンボジアなど周辺国でもこの動きは見られ、早晚実施されるのは間違いないと考えます。タイへ渡航予定、検討中の方は、動向に注意が必要です。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局

〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F

((株)人材情報センター内)

TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565

E-mail: info@chojo-hokugin.jp